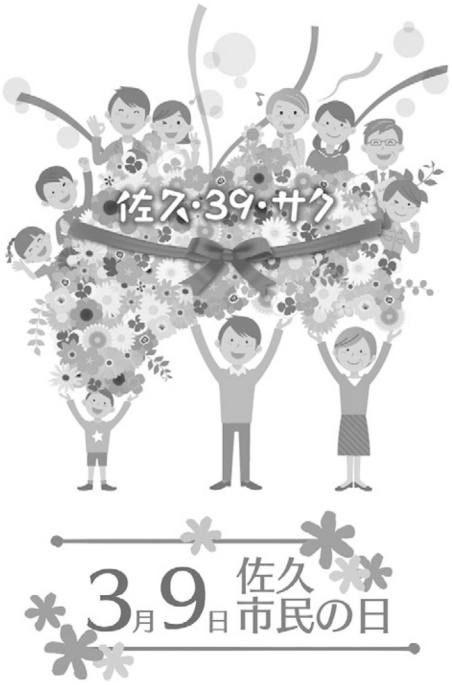


昨年10月12日に大型で非常に強い台風第19号が県内に最接近し、大雨特別警報が発表されるなど、市内に大きな被害をもたらしました。

３月９日「佐久市民の日」を迎えるにあたり、被災をされた方々への支援を行うとともに佐久地域に漂う閉塞感や停滞感を払拭する機会として、３月７日に佐久市民の日キックオフイベント「サンキュー佐久の日」を開催します。

復興の先にある佐久の「確かな暮らし」をテーマに市民一丸となった力強い歩みを実感できるイベントとなりますよう取り組んでまいります。





佐久市民の日　ロゴマーク

～佐久市民の日とは～

市と市民が一体となって佐久市の魅力を再発見し、愛着と誇りを抱いていただくため、毎年３月９日を「佐久市民の日」として定着させ、佐久市の更なる発展を期するため、３月９日を中心に記念事業を実施しています。

佐久市民の日 キックオフイベント & 観光復興に向けた地域協働事業

サンキュー佐久の日

復興の先にある確かな暮らし

【3月7日㈯ 10時～15時】@JR佐久平駅周辺

ＪＲ佐久平駅周辺の４会場で同時開催！ 3月7日は佐久平駅周辺に全員集合！

（会場 市民交流ひろば、佐久平駅、イオンモール佐久平、ミレニアムパーク）

市民交流ひろば会場

●ステージイベント（予定）

10：00～　オープニング
10：15～　よさこい鳴子踊り（朝霞彩夏祭連合チーム関八連（かんぱちれん））
10：30～　SAKUSAKUマルシェステージ

●SAKUSAKUマルシェ

佐久地域の個性豊かなお店による出店や
ワークショップを開催！
（佐久市市民活動サポートセンター）



マルシェの様子（イメージ）



ワークショップの様子（イメージ）



●チャレンジスペース

オリンピック競技のボルダリングにチャレンジ！

●くつろぎテントスペース

キャンプ用テントの組立て講座・
使用体験なども実施予定！
テント設営講習
10：30～　12：00～　14：00～
移動図書館草笛号も来るよ！　10：00～11：00



鉄道模型Ｎゲージの様子（イメージ）

佐久平駅会場（駅舎2階「プラザ佐久」内）

●Ｎゲージ走行

子どもに大人気！鉄道模型Ｎゲージ！

●アルクマ駅長との写真撮影

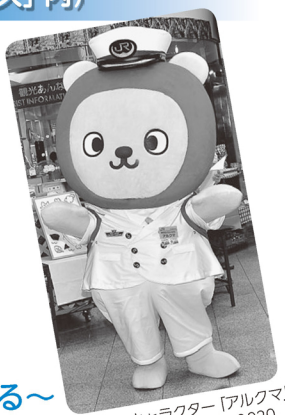
アルクマ駅長と記念撮影！
子ども用制服の貸出しも予定

●佐久の日限定エキナカ縁日

ポップコーンのふるまい、焼き芋の販売、
地酒の試飲、缶バッジづくり

●佐久平駅南地区 ～まちがこう変わる～

パネル展示（意見募集）



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ14-0020

イオンモール佐久平会場（セントラルコート内）

●教えて！ドクターブース

子どもと災害など小児科医が分かりやすく説明します。
子どもの病気とおうちケアを遊びながら学ぼう！

●地蔵健診

ぴんころ地蔵のレプリカが健康についてのお告げをします。
健診おみくじも引けます。

●「がんばろう佐久」シルクスクリーン

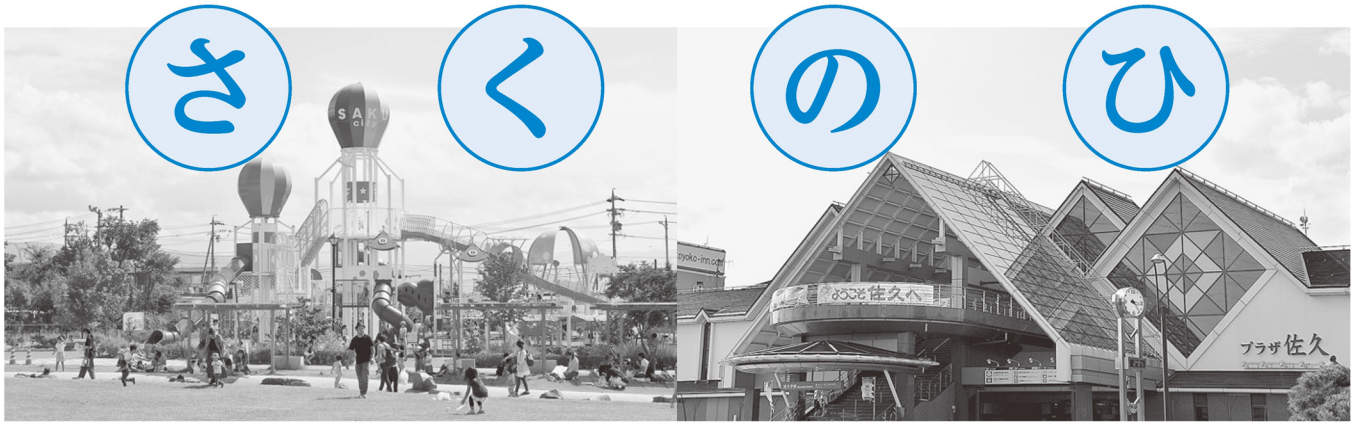
復興支援シンボルマークで
自分だけのオリジナルエコバッグを作ろう！（有料）





スタンプを集めて佐久の名産品をゲットのチャンス！

市民交流ひろば会場と佐久平駅会場にあるスタンプを集めてイオン会場にもっていくと佐久地域の名産品をゲットするチャンス！スタンプ帳がなくなり次第終了させていただきます。（※スタンプ帳は、イベント会場内でお配りしています。）



イベントの締めくくりは、みんなでよさこい鳴子踊りを踊ろう！

ミレニアムパーク会場（14時30分～）

●みんなで踊ろう「総踊り」

ステージゲストとしてお呼びする埼玉県朝霞市のよさこい鳴子踊りグループの皆さんとご来場いただく皆さんが一体となる「総踊り」をクロージングイベントとして実施します。朝霞の総踊り曲「集まれ！踊り人」に合わせて、会場の皆さんで踊りましょう！

イベントの最後は、ミレニアムパークへお集まりください。



埼玉県朝霞市「彩夏祭」の様子


彩夏祭シンボルキャラクター
彩夏（さいか）ちゃん

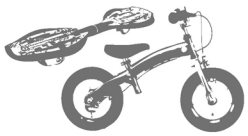
埼玉県朝霞市で毎年開催している「彩夏（さいか）祭」の踊り子さんが復興に向けて元気な踊りを披露します！

ミレニアムパークプレイサークル（10時～15時）

●ヘンシンバイク体験

●リップスティック体験

今話題の乗り物体験!!



おぼえて踊ろう！総踊り

総踊りの解説動画は朝霞市民まつり彩夏祭公式HPよりご覧いただけます！

朝霞市民まつり
彩夏祭公式HP

佐久市と埼玉県朝霞市の関係

佐久市と朝霞市は、平成23年10月に大規模災害が起こった時に食料や生活必需品などの提供、職員の派遣などで応援し合う「災害時における相互応援に関する協定」を結び、日頃から市民レベルでの顔の見える関係づくりを目指しています。

今回の台風第19号災害においても、朝霞市の皆さんには職員派遣等のご支援をいただいています。


昨年8月に朝霞市で県外初「北斗の拳バルーン」の係留を行い、大勢の皆様にお越しいただきました。

イベント全体を通してのお願い

・雨天等の場合は、主催者の判断によりイベント内容を変更、中止することがあります。
・会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用いただくか、お乗り合わせの上、ご来場ください。
・イベント全体でレジ袋の削減に取り組みます。「SAKUSAKUマルシェ」等をご利用の皆様はマイバッグをお持ちください。

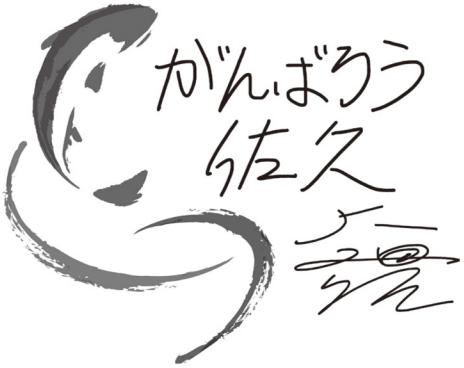
復旧・復興に向けて

台風第19号災害において、佐久市にゆかりのある方々からメッセージをいただきました。

佐久市復興支援シンボルマーク

佐久市観光協会では、いただいたメッセージを活用し、佐久市復興支援シンボルマークを作成しました。シンボルマークは、佐久市の復興に向けたシンボルとして市内施設等に掲示していくほか、被災された方々を応援するための販売グッズのデザインに活用してまいります。

「復興への襷（たすき）」
～新たなステージへ～



大迫傑選手（3000m、5000mおよびマラソンの日本記録保持者）は、2007年より佐久長聖高等学校に進学し駅伝部に入部され、全国高校駅伝等においてご活躍されました。現在は、ナイキに所属され、プロランナーとして活躍されています。この度、母校のある佐久市が台風第19号により被災したことを受け、復興に向けたメッセージを送ってくださり、そのメッセージを活用し、佐久市復興支援シンボルマークを作成しました。



筆耕　大迫 傑 選手（陸上競技選手）

「ONE TEAM」
～みんなの力をひとつに～



「Build Back Better」
～原状復帰の一歩先へ～





筆耕　中村 梅雀 氏（俳優）、津田 寛治 氏（俳優）

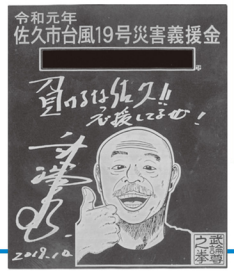
佐久市が台風19号の被災を受ける1年前（平成30年）、佐久地域で“最期まで生き抜くこと”をテーマとした映画「山中静夫氏の尊厳死」の撮影が行われました。映画のW主演俳優 中村梅雀さんと津田寛治さんは、被災直後から佐久の被災状況を心配いただき、復興に向けたメッセージを送ってくださいました。そのメッセージを活用し、2種類の佐久市復興支援シンボルマークを作成しました。

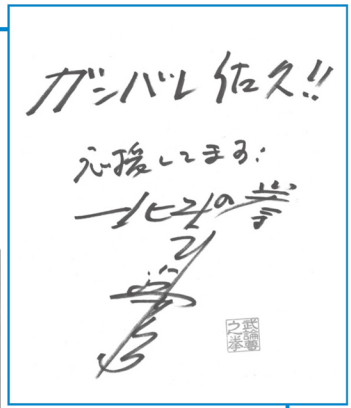
武論尊氏から佐久市へメッセージ

佐久市出身で、漫画「北斗の拳」の原作者である武論尊氏から、台風19号において被災された皆様に、1日も早く日常の生活が戻るよう、応援の気持ちを込めたメッセージをいただきました。こちらのメッセージは本庁をはじめ、各支所やプラザ佐久、佐久平交流センターなどに設置しております義援金箱の横に掲示しております。

また、商工会議所の各地区青年部様が設置している募金箱にもメッセージをお寄せいただいており、そちらにおきましてはご賛同いただいた市内の各飲食店等に置かれております。

見かけた際には、皆様の心温まるご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。





↑佐久市義援金箱

←商工会議所青年部募金箱